（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和元年12月13日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職　元 一般財団法人 残留農薬研究所 理事

氏名　佐藤 清

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- □ 平成29年度
- □ 平成30年度
- □ 令和元年度

当該年度における受取額

- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】

- □ 寄附金(奨学寄付金含む)
- □ 研究契約金
- □ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料
- □ 原稿執筆料
- □ 当該企業の株式
- □ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和 元 年 12 月 7 日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職　東京海洋大学 資源研究院 教授

氏名　佐野 元彦

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→　受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→　該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→　該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和 1 年 12 月 13 日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職　国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
氏名　瀧本秀美

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛御中

〒100－8916　　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　　03(5253)1111（内線4289）
　　03(3595)2423（18時以降）
FAX　　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和 元 年 12 月 13 日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現 職　明治薬科大学　特任教授

氏 名　永山敏廣

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和元年12月10日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職　国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長

氏名　根本　了

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度　□ 50万円以下
□ 平成30年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 令和元年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度　□ 50万円以下
□ 平成30年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 令和元年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度　□ 50万円以下
□ 平成30年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 令和元年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 殿

〒100－8916 東京都千代田区霞が関1－2－2
電話 03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX 03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和 1 年 12 月 6 日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職 日本生活協同組合連合会

氏名 二村 睦子

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等): 田村製粉株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等): ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和元年12月2日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職　元（一社）日本植物防疫協会技術顧問

氏名　宮井 俊一

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等):　田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916 東京都千代田区霞が関1－2－2
電話 03(5253)1111（内線4289）
03(3595)2423（18時以降）
FAX 03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

令和元年12月6日

令和元年12月20日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

現職 静岡県立大学
氏名 吉成浩一

①食品中のイソフェタミドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等)：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のイプフルフェノキンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等)：　日本曹達株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のカルバリルの残留基準の設定について

企業名(申請企業等)：　TKI JAPAN株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名(製造企業等): 田村製薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

④食品中の1,3-ジクロロプロペンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 1,3-D技術協議会

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

企業名(申請企業等): ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑤食品中のダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): アグロカネショウ株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成29年度
□ 平成30年度
□ 令和元年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項